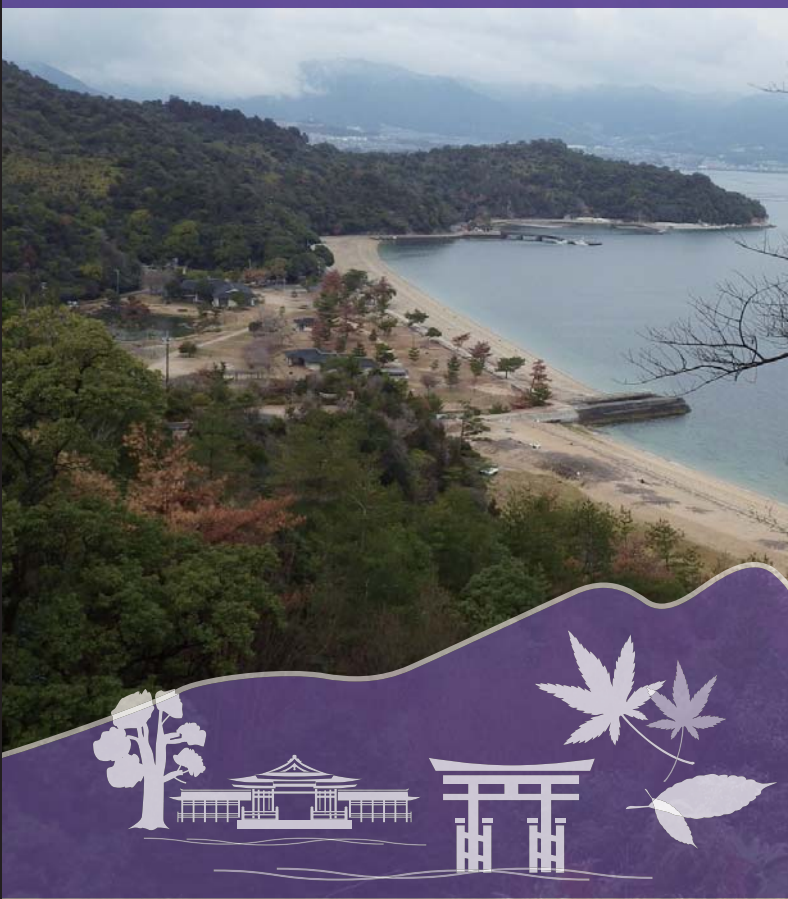


# 宮島の自然散策マップ

## 4 歴史文化の体験コース 包ヶ浦自然歩道



### 4 歴史文化の体験コース

包ヶ浦自然歩道

七浦神社(厳島神社末社)のうち三つの拝所や、毛利元就ゆかりの地など、一般観光とは違う文化・歴史をめぐるコースなので、厳島海峡も大きな魅力です。

- 【距離】 合計 約15.5km
- 【所要時間】 約4~5時間
- 【難易度】 ハイキングレベル



- 歴史文化体験コース
- 動植物資源
- 地形地質資源
- 歴史文化資源
- ▲ 巨木
- ♿ トイレ
- ℹ 案内図
- ・M-01 誘導標識の標識番号

### ロープウエー・フェリー運行状況

#### 宮島ロープウエー運行時間 [運行間隔約15分]

12月~2月 9:00~16:30(下り最終17:00)  
 3月~10月 9:00~17:00(下り最終17:30)  
 11月 8:00~17:00(下り最終17:30)  
 GW/お盆 8:30~17:30(下り最終18:00)

#### フェリー運行時間 [運行間隔約15分(昼間)]

[宮島松大汽船]	[JR西日本宮島フェリー]
宮島口発 7:15~20:35	宮島口発 6:25~22:42
宮島発 7:00~20:15	宮島発 5:45~22:14

※運行時間は平成25年3月31日現在のものです。  
 ロープウエー・フェリーともに特別運行期間がありますので、詳しくはそれぞれの会社にお問い合わせください。

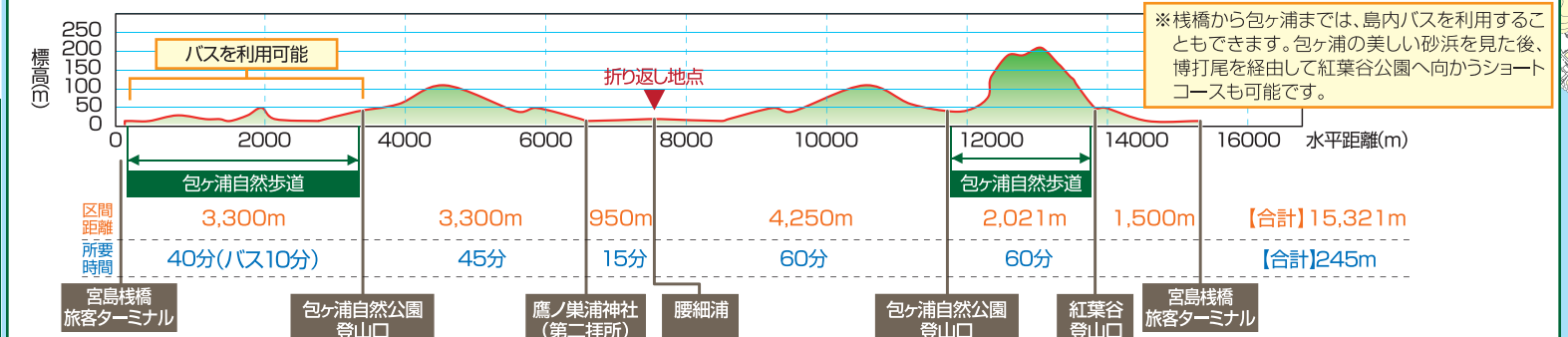
### モデルコースはほかにも

- 1 宮島の自然満喫コース 大元ルート~ロープウエー~包ヶ浦自然歩道
- 2 動植物観察コース 大元ルート~紅葉谷ルート
- 3 地形・地質観察コース 大元ルート~紅葉谷ルート があります。

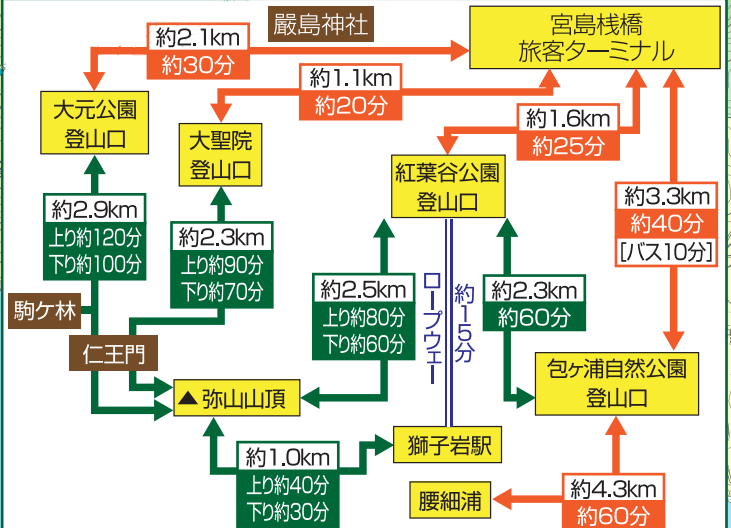
マップは下記ホームページからダウンロードできます。

ホームページ  
[http://chushikoku.env.go.jp/nature/miyajima\\_guide\\_map/](http://chushikoku.env.go.jp/nature/miyajima_guide_map/)

### コース情報



### コース所要時間



## 4 [歴史文化の体験コース]のみどころ

歴史文化の体験コースは、ハイキングを楽しめる「包ヶ浦自然歩道」や厳島海峡の海岸沿いを歩きます。

### 包ヶ浦自然歩道の動植物

博奕尾から包ヶ浦までの尾根沿いでは、アカマツ、ヤマモモ、クスノキ、コシダ、ウラジロなどの日当たりの良い場所に生える植物が多くみられます。谷部などのやや暗い場所では、コジイ、アラカシ、タラヨウ、ミズバイなどの常緑広葉樹林がみられます。

## コース上の主な自然資源

### 長浜神社



長浜神社

長浜神社のすぐ前には、丹塗りの鳥居があります。宮島を代表する祭りの一つである管絃祭では、厳島神社の姫神様がお乗りになる御座船が地御前神社から帰ってきて、ここで祝詞をあげ、管絃が奏されます。管絃祭は、平清盛によって厳島神社で執り行われた神事で、瀬戸の海を舞台に繰り広げられる宮島ならではの優雅なお祭りです。

### 杉之浦神社（第一拝所）

【標識番号】E-03-1



杉之浦神社（第一拝所）

底津少童命をお祀りしている御島巡式の第一拝所で、御島巡り参加者が全員上陸し、茅の輪をくぐり、島巡りの無事達成と参拝者の安全を祈願します。

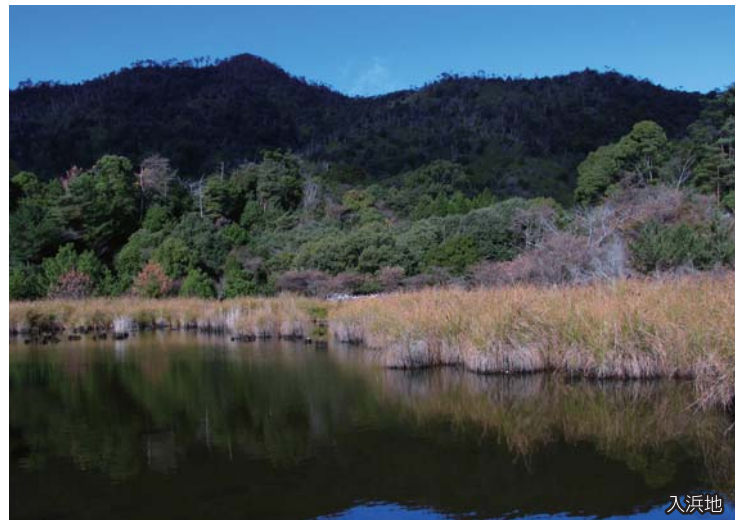
### 包ヶ浦自然公園



包ヶ浦自然公園

海と山の両方を体験できる自然公園です。広い敷地には、包ヶ浦海水浴場のほか、テニスコート、運動広場、ケビン、キャンプ場、ビーチハウスなど各種施設がそろい、家族連れから団体まで楽しめます。美しい海岸線を誇るビーチは、遠浅のためファミリーに最適で、シーズン中はいつもにぎわいを見せています。

### 入浜地



入浜地

入浜池は宮島の山からの水と海水が入り混じる汽水池です。周囲にはカンコノキやシロダモの低木類が多く、池の内側にはヒトモトスキが群生しています。瀬戸内海では自然海岸の7割が失われ汽水池もほとんど見ることが出来ませんが、入浜池は手軽に汽水池を観察することのできる貴重な場所です。

### 鷹ノ巣浦神社（第二拝所）

【標識番号】E-09-1



鷹ノ巣浦神社（第二拝所）

鷹ノ巣浦低位砲台設置の際、この入浜の砂浜に移転されました。

## 宮島を自然散策するときのルール

宮島は、全島が国立公園の特別地域で、特別史跡及び特別名勝にも指定されています。また、弥山原始林は天然記念物に指定され、その周辺一帯の国立公園特別保護地区内では、動植物や岩石の採取、焚き火などが禁止されています。宮島の希少な自然をいつまでも残していけるよう、利用ルールを守りましょう。



植物を捕らない



動物を捕らない



野生動物に餌を与えない



炊かない

### 腰細浦神社（第三拝所）

【標識番号】E-10-1



腰細浦神社（第三拝所）

腰細浦は、東西に長く伸びる砂浜と転石地帯があり、様々な生き物を見ることが出来ます。

### 博打尾



博打尾

早朝、まだ陶軍が戦の準備をしていないスエの本陣を急襲しました。こうして日本三大奇襲戦の一つといわれる「厳島合戦」の幕が切って落とされました。

### 包ヶ浦自然歩道の動植物



包ヶ浦自然歩道

博奕尾から包ヶ浦までの尾根沿いでは、アカマツ、ヤマモモ、クスノキ、コシダ、ウラジロなどの日当たりの良い場所に生える植物が多くみられます。谷部などのやや暗い場所では、コジイ、アラカシ、タラヨウ、ミズバイなどの常緑広葉樹林がみられます。また、包ヶ浦にはシカがたくさん群れており、親鹿、子鹿に頻りに出会うことができます。



### 町(丁)石

弥山までの道のり(弥山堂)に古くから設置されている石の道標です。かつては山頂を二十四町(丁)として、1町(丁)=約109mごとに設置されていました。最も古いもので慶長4年(1599)年の銘が残されています。

## コースの利用にあたっての注意

- 所要時間は、40～50歳の登山経験者が少数で、日帰り登山程度の装備にて、晴天時に歩いた場合を想定しています。自然観察や見学、観光、休憩等の時間をふくまないので、目安程度にご活用ください。
- 日没後は非常に危険です。ロープウェイ等の交通機関の運転状況や最終時刻などを確認し、日没3時間前には下山するようにしてください。
- 全コースで登山道を歩きます。ハイキングや軽い登山レベルのコースでも、登山に向けた服装や靴を使用し、非常食や飲み物などを携帯してください。
- 危険な生きものに注意してください。(毒ヘビ、スズメバチなど)

## 宮島の代表的な自然環境

### 宮島の動植物

国の天然記念物に指定される弥山原始林、低地には珍しいモミ自然林、沿岸部の海浜植生や塩沼地植生、そしてそこにしか生息しないミヤジマトンボなど、希少で多様な動植物が生息・生育しています。また、宮島のいたるところでシカが生息しています。野生生物ですので、エサを与えず優しく見守りましょう。

### 宮島の地形・地質

地形は急峻で、奇岩や巨岩などが点在します。地質は花崗岩が主体で、球状風化、方状風化等の風化現象、海食洞、海食罅等の侵食現象が多くみられます。海岸部は、風化したマサ土による砂州や砂浜、干潟や磯浜、潮汐湿地など、変化に富んでいます。

### 宮島の歴史・文化

世界遺産である厳島神社をはじめ、弥山、大聖院、大願寺など、多くの神社寺院・史跡等があります。宮島外周部の7つの浦に神様が祭られているほか、厳島合戦の古戦場なども島に点在しています。

### 厳島神社（世界文化遺産）



宮島厳島神社は、平成8年に世界文化遺産に登録されました。潮の干満を利用した神社の設計は国際的にも例がなく、建造物と自然が一体になった価値の高さが評価されました。

### 弥山原始林（国の天然記念物）



国の天然記念物に指定されている「弥山原始林」は、針葉樹に南方系の植物が混在する森で、ヤマグルマなどの原始的な植物を自然の状態で見ることができる貴重な場所です。

### ラムサール条約登録湿地とミヤジマトンボ



ミヤジマトンボは、環境省と広島県の絶滅危惧I類に分類され、国内では宮島に唯一生息しています。生息地である宮島の南西部沿岸域が、平成24年7月にラムサール条約に登録されました。

### モミ自然林（大元公園）



モミは冷涼な山地を好む針葉樹で、海岸に生育することは極めてまれです。大元公園一帯には、モミ、ツガ、カヤなど冷涼な山地に生育する針葉樹が海岸近くに自生しており、植物学上とても貴重です。

### 七浦神社（厳島神社末社）



弥山を常に右にみるように宮島の外周約30kmを舟で廻って、七浦に祀られてある神社(厳島神社末社)に祈願する「七浦めぐり」が古くから行われています。

### 海辺の生き物



宮島には、干潟や磯浜、潮汐湿地等の多様な自然海岸が残されています。特に厳島神社から大元公園までの大きな干潟には、様々な貝やカニなどが生息し、観察に適しています。